

新型コロナ対応下での歯科医業経営状況等アンケート調査報告書

日本歯科医師会はこのほど、「新型コロナウイルス感染症対応下での歯科医業経営状況等アンケート調査報告書」を日歯 HP・メンバーズルームに掲載しました。

調査は、先般緊急事態宣言が出されたことによる歯科医療機関の医療経営面等の基礎資料を得るために行ったもので、対象は各都道府県歯科医

師会役員および委員会委員（各都道府県 10～20 名程度）で、回収数は 409 件、有効回答数は 406 件。結果概要は、令和 2 年 4 月診療分は対前年度比で総件数 19.8%、総実日数 16.6%、総点数 11.7%それぞれ減少しました。また、4 月分の総件数において対前年度比 2 割以上減少している個人立の歯科診療所は、約半数ありました。外来患者数の動向については、昨年同期と比較して「大幅に減った」「やや減った」を合わせて 9 割以上になりました。

予約診療のキャンセルや予約日の調整については「大幅に増えた」23.9%、「やや増えた」30.8%で、5 割以上が「増えた」と回答しました。

診療体制は「通常通り」74.6%、「休診」4.2%、「時短」19.7%になりました。

自由記載欄（重複あり）には、「患者減・減収・経営不安」関係が 100 件、「衛生製品の不足・価格高騰」関係 81 件などとなっています。

日本歯科医師会としては、今後も調査を継続し、歯科医療機関への経済的支援を求めます。



令和2年3月・4月の対前年度減少率の比較 (％)

| | 3月分 | | | 4月分 | | |
|---------------|-------|------|---------|-------|------|---------|
| | 平成31年 | 令和2年 | 対前年度増減率 | 平成31年 | 令和2年 | 対前年度増減率 |
| 全体 | | | | | | |
| n=406 総件数 (件) | 100 | 94.9 | ▲ 5.1 | 100 | 80.2 | ▲ 19.8 |
| 総実日数 (日) | 100 | 94.9 | ▲ 5.1 | 100 | 83.4 | ▲ 16.6 |
| 総点数 (点) | 100 | 97.3 | ▲ 2.7 | 100 | 88.3 | ▲ 11.7 |
| 初診回数 | 100 | 92.1 | ▲ 7.9 | 100 | 75.3 | ▲ 24.7 |
| 再診回数 | 100 | 98.3 | ▲ 1.7 | 100 | 85.0 | ▲ 15.0 |

都道府県歯科医師会宛て通知から

◎厚労省「新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言の解除を踏まえ今後を見据えた歯科医療提供体制の検討及び歯科保健医療の提供について（依頼）」（6/19）

通知では、新型コロナウイルス感染症への対策が求められる中であっても、国民の健康の保持・増進のため歯科疾患の予防や重症化予防の取り組みが重要として、歯科医療機関および関係団体に対し、「今後、歯科診療を実施する上での留意点」「歯科疾患の予防・重症化予防の取り組み」を示して、感染拡大防止策を適切に実施した上で歯科保健医療を提供するよう求めています。

都道府県歯科医師会宛ての各通知は、日歯 HP 内の「新型コロナウイルス感染症について」（歯科医師のみなさまへ）およびメンバーズルーム (<https://www.jda.or.jp/member/>) に掲載しています。



歯科医師向け

発行責任者：公益社団法人 日本歯科医師会
 常務理事 小山茂幸
 本ニュースレターに関する問い合わせは、
 03-3262-9322（広報課）にご連絡ください